



なぎそ

# 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和元年12月定例会・全員協議会



蘭保育園



田立保育園



読書保育園

### 議会の眼

町には3つの保育園があります。いま、この3園を、この先どのような形で運営していくのが住民にとって良いことなのか、議論が進められています。

議長年頭あいさし…………… 19 p

12月定例会…………… 19 p

○12月定例会は、12月12日から12月18日の7日間の会期で開かれました。

★議案で決まったこと一覧…………… 19 p

☆請願・陳情の審査結果…………… 20 p

☆補正予算(第4号)を可決…………… 21 p

★一般質問…9人の議員が質問…………… 24 p

☆全員協議会…………… 29 p

- 小学校駐車場用地の取得
- 今後の南木曾町の保育の姿 基本方針②
- 子育て世代包括支援センターの設置
- 町道妻籠町上連絡線(仮称)の町道認定及び用地取得・物件補償
- 名城大学との包括連携協定
- 地方創生総合戦略(案)
- リニア活用基本構想の策定
- リニア協定書
- 実施計画(令和2～4年度)

シリーズ「聞いて私の思い」…………… 33 p

田立地域振興協議会会長 森 洋司さん

# 令和2年 明けましておめでとございます



南木曾町議会議長 山崎 隆二

## 住民がワンチームとなって

令和二年、子年の年頭のご挨拶を申し上げます。

改元により時代は「平成」から「令和」へと変わりましたが、平成時代の幕開けは、ベルリンの壁の崩壊に象徴されるように、閉ざされた世界が一変して開かれた印象でした。しかしてその後三十年余りが経過した今日における世界は、自国主義と独善主義の流れが広がり、時代が後戻りするかのような印象すら感じられるようになりました。

我が国における平成の時代は、宇宙の分野に始まり、政治、経済、社会、教育、福祉、医療、文化、スポーツの分野に至るまで、様々な出来事が起こり、特に情報通信分野では携帯電話など革命的な発展がありました。

一方で、平成26年の南木曾町土石流災害をはじめ、阪神淡路、東日本大震災、台風災害など数々の悲惨な事態にも遭遇しました。

そのような時代の中、上皇は昭和時代の戦争犠牲者の追悼に加え、自ら被災地を訪問され、国民に寄り添い、同じ目線で苦楽を共にし、世界の平和と安寧を祈られつつ、象徴としてのご公務を勤められました。令和の天皇も昨年の暮れに東北の台風の被災地を見舞われました。

「令和」という元号は、万葉集から引用され、「美しく和を奏でる」との意味が込められており、英語では「Beautiful Harmony」と翻訳されます。令和の時代が、南木曾町の皆さんにとって美しく平和に「和を奏でる」時代となることを心からご祈念いたします。

「昭和」から「平成」そして「令和」へと時代が進み、国民・市民のニーズが多様化し、複雑・高度化していく社会の中で、地方自治の一翼を担う行政機関（職員）においては、令和の時代も引き続き遵法精神に立脚し、自国主義や独善主義には組みせず、住民の皆さんに寄り添い、「ワンチーム」となってそれぞれの立場で住民の皆さんと苦楽を共にしつつ業務に励まれることを望みます。

アフガニスタンのために身を捧げ銃弾に倒れた中村哲医師の座右の銘は「照一隅」です。それぞれの人がそれぞれの立場で一隅を照らすことに精一杯努力すればいい、みんながそうなればもって世界を照らすことになるという意味であり、深く感銘しました。

南木曾町議会も、地方自治の一翼を担いつつ、「照一隅」の精神を根底に、代表制民主主義を進化させ、様々な立場の人々が様々な立場から立体的に共存共栄関係を築けるよう、「ワンチーム」となって住民サポートの輪を広げる努力をして参りたいと思います。今年4月には町長と議会議員の同日選挙が執り行われます。在職中の言動や個人の資質などを住民の皆さんが評価し審判する機会ですが、批判ばかりではなく、南木曾町に暮らす全ての人々が、それぞれの立場で、できるだけの範囲でスクラムを組んで支えあう「ワンチーム」になれば、人口減少や高齢化等を悲観的にとらえることはありません。議会議員一同、引き続き市民の皆様のため身を捧げる気持ちを新たに、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 12月定例会可決議案一覧表 (1/2)

予算関連議案		賛否
● 令和元年度 補正予算	・ 一般会計の補正は934万円減額し、総額38億7380万6千円となります。	全員一致 <small>審議内容掲載 P.21</small>
一般議案		賛否
● 南木曾町辺地対策総合整備計画の変更	令和元年度事業執行分及び元号変更等関係個所の加除・修正により、変更を行うもの。	全員一致
● 木曾広域連合規約の一部変更	木曾広域連合の「公共下水道汚泥集約処理施設の設置及び管理運営に関する事務」を公営企業会計にて処理するため、変更を行うもの。	全員一致
● 令和元年度学校施設環境改善交付金事業 南木曾中学校体育館長寿命化改良工事請負契約の変更	契約金額：1億308万9千円（変更差額1158万3千円増） 契約の相手方：株式会社岡谷組 木曾営業所	全員一致

# 12月定例会可決議案一覧表 (2/2)

承認案件		賛否
●南木曾町有林野経営事業計画の承認	令和2年度 町有林野経営事業計画 事業費1060万円 間伐12.8ha、除伐・枝打ち6ha、作業道800m	全員一致
条例の制定／改正		賛否
●フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律による一般職の会計年度任用職員創設に伴う、フルタイム会計年度任用職員の給与・手当等に関し必要な事項を新たに定めるものです。	全員一致
●パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律による一般職の会計年度任用職員創設に伴う、パートタイム会計年度任用職員の報酬・手当・費用弁償の支給に関し必要な事項を新たに定めるものです。	全員一致
●地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律による一般職の会計年度任用職員創設に伴い、関係する条例について必要な改正をするものです。	全員一致
●公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	職員の派遣することができる団体について規定の改正を行い、地方公務員法の改正に伴い、根拠規定の改正と見直しを図られた用語を修正するものです。	全員一致
●南木曾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い町の関係条例の改正を行ったが、内閣府令の誤りに伴い、用語及び関係条例の一部改正を行うものです。	全員一致
●南木曾町国民健康保険税条例の一部改正	平成30年度長野県実務担当者検討会で検討を行った結果、被收容者に対する国民健康保険税の減免は、被收容者への任意給付が行われていない場合において申請があった際は、減免を行うという方針が出されたことに伴い、条例の一部改正を行うものです。	全員一致
●南木曾町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されることに伴い、条例の一部を改正するものです。	全員一致

趣旨：妊娠中は食嗜好や食生活が変化し口腔内衛生状態の悪化や、ホルモンのバランス変化などで、むし歯や歯周病が進行しやすい。また、むし歯菌・歯周病菌が赤ちゃんに感染することや早産や低体重児出産のリスクが高まることも報告されている。妊婦の歯科健康診査は県内でも27市町村と半数に及ばない状況である。

**提出者** 長野県保険医協会  
会長 宮沢 裕夫

**結果** 採択・町執行部送付（全員一致）

●妊婦を対象とした歯科健康診査の実施を求める陳情書

趣旨：現在長野県の最低賃金は848円で賃金の地域間格差は都市部への労働者の流出を招き多くの自治体が人口減少に苦しんでいる。全国知事会なども最低賃金の引き上げと全国一律の最低賃金制度を求めている。同時に、地域経済を支える中小企業などへの支援策を拡充することが必要。

**提出者** 長野労働組合連合会  
議長 細尾 俊彦

**結果** 趣旨採択（賛成多数）

●「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

**請願・陳情**

## 議会の傍聴にお越しく下さい

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。詳しい日程などについては、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。  
※12月の議会は、2日間で6人の傍聴がありました。





**令和元年12月期補正予算 (12/18決)**  
**一般会計補正予算 934万円を減額**  
**総額 38億7380万6千円に**

● **会計別補正予算** (単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計	△ 9,340	3,873,806
国民健康保険特別会計	2,277	386,367
簡易水道事業特別会計	737	176,923
下水道事業特別会計	992	84,034
農業集落排水事業特別会計	40	76,703
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	1,053	120,166
後期高齢者医療特別会計	138	76,755

● **一般会計補正の主なもの** (単位：千円)

事 業 名	金 額
青少年対策費 (子育て応援給付金)	2,000
保育施設管理費 (読書保育園フェンス等周辺設備修繕)	2,461
ポットホール補修等の実施見込みによる道路橋梁費	1,800
読書保育園駐車場舗装等整備費	1,500
有害鳥獣駆除事業の見込みによる林業振興費	1,061

## 補正予算審議概要

令和元年12月期予算(一般会計、特別会計)が可決されました。

### 医療・病院関係

**Q** 国保税の歳入が増えている。一方、坂下病院が診療所になって医療費の現状はどうなっているか。

**A** 一人当たりの医療費の高さは、数年前までは県内の上位10番以内にいましたが、現在は30番台後半で一時より下がってきています。

**Q** 病院の問題を巡って、中津川市はどのような状況になっているか。

**A** 坂下診療所の改革

**要望** 中津川市とは情報をしっかり共有し、お互いに行けること、協議を重ねていただきたい。

は、耳鼻咽喉科と泌尿器科を今年度末に中津川市民病院に集約する方向で動いています。

巡回バスは、1月6日から少し時間の変更がありますが、新年度からどうなるか明確な答えは聞いていません。

### 保育園関係

**Q** 読書保育園駐車場の完成時期が遅れている。

**A** 遅れている理由は、巨石処理と不足土の調達に時間がかかっているためです。完成は来年2月を見込んでいます。

**Q** 木曽病院線のタフシーの利用者は。

**A** 月平均の延べ人数は7〜8名です。

**要望** 坂下診療所の問題がある中で、広域連携の取り組みで木曽病院に行ける路線はありがたい。継続をお願いする。



読書保育園の駐車場工事

### 学校関係

**Q** 最近、食物アレルギーの子どもが増えているように見えますが、町の小中学校の状況は。

**A** 食物アレルギーの児童・生徒がおり、給食の対応をしています。

### ◆公用車による電源供給

**Q** 災害時に公用ハイブリッド車から電源は取れるか。その使い道は。

**A** 一台は取れます。役場庁舎や避難所などへ供給できればと考えています。

### 防災関係

**◆ハザードマップ**

**Q** 農業用ため池ハザードマップの作成は。

**意見** どこへ供給するかは、あらかじめ決めておいた方が、混乱がなくて良い。



松枯れによる危険木

東山神社周辺の松枯れ

◆松食い虫被害

Q 東山神社周辺で数本が枯れかかっている。倒れると危険なので、伐倒処理できないか。

A 現地を調査して対応を検討します。

観光関係

Q 近年、中山道を歩く外国人が増えていますが途中に設置してあるトイレの位置が分からず困っている。

A 次のトイレまでの距離を案内看板などに示していただけないか。

A 良い提案なので検討します。

農林関係

Q 農業の多面的機能支払いが減額になっていく理由は何ですか。

A 今年度第2期対策の取り組みが始まったが、参加組織が23から15に減ったために当初予定より交付額を404万円減額しました。

要望

農地が荒廃する中で制度が使われないのは地域全体が疲弊していくひとつの現象ではないか。交付金額も増額して使いやすい制度にしたい。

Q 森林組合は、来年2月ごろ他の場所に移転する計画だが、跡地



三留野宿(新町)に建てられたトイレ

の建物の利用計画は考えているか。地元からも「三留野宿の中心となるような施設として考えてほしい」と要望が出ている。

A 庁舎内の委員会で、地元の要望も踏まえて検討します。

道路工事関係

◆右岸道路の竣工式

Q 川向の右岸道路は来年竣工する予定だが、竣工式などを行う計画はないのか。

A 一部であっても長い距離になりますので、県など関係機関や地元の間向区とも協議して実施できるように検討します。

◆蘭地区交差点改良

Q 蘭地区大島の町道と国道256号との交差点改良の協議の状況は。

A また、県の256号改良事業の前に、町単独で改良する考えはないか。

A 町からは改良案を



現在の森林組合施設

リニア関係

Q リニアの山口工区の環境保全書が書き直されて12月5日に修正して公表された。町も内容を精査して、南木曾町側での工法とそれに伴う現象について検討し、県や国に必要な審議をやっていただくことを要望する。

要望 私たちにとつては、妻籠の水源がいつ

ばんの問題となる。水源を補償してもらう方向で話を進めていただきたい。

広報関係

Q 葬儀の1日前に行っているお悔やみ放送を、2日前にはできないか。

A 日程的にできない場合もありますが、内部協議のうえ検討したいと思っています。

◆(主)飯田南木曾線通行止

Q 10月25日から通行止めになっているが、工事のためとはいえず観光シーズンである。観光客からの苦情がある。

A 県の工事であり、冬季にかかると大変なためだと思われませんが、観光シーズンであることなどを県へ伝えたいと思います。



蘭地区大島の町道と256号との交差点付近



特集 子育て支援

## 南木曾町子育て支援 給付金支給事業

町は子育て支援のために「子育て応援給付金事業」を提案しました。12月定例会ではこの制度に関連する補正予算を可決し、10月に遡

### 【「子育て応援給付金事業」の説明概要】

この10月から保育料が無償化になりました。これに伴いこれまでの3歳から5歳の園児を対象にした保育料の2割補助は廃止となりますが、替わって「子育て応援給付金事業」が創設されます。

これまで支援が薄かった未満児(1・2歳児)を対象にして、町独自の子育て支援の一環として月額4千円を給付します。

また、給食費は町負担となっていますので、未満児保育を利用してない保護者に対し7千円を給付します。これは、保育園を利用しない保護者への格差が生じないように、3～5歳児も含め給食費相当額の月7千円を上乗せするものです。

実施期間については、令和元年10月から令和3年度までとしますが、継続を前提として検証を行います。

って実質的な制度の運用が始まります。

全員協議会での審議や、本会議での質疑概要を紹介し、この制度について考えてみます。

#### 全員協議会における質疑

**Q** 実施時期を令和3年度までにしているが、それ以降は給付金を受けられないことになる。不公平だと思うが。

**A** 継続が基本ですが、制度上は実施期間を区切り、そこで検証を行います。

**Q** 子育ては人口減少対策の重要課題だ。事業の検証は必要だが、そのために期限を設ける必要はないのでは。

**A** 今年の10月まで実施してきた保育料の補助制度と同じように期限を設けて検証しながら継続したいと考えます。

**Q** 3～5歳児までは保育料無償化となるが、0歳児も含めた2歳児までの支援は考えたのか。

**A** 出産祝い金を出していることもあり、未満児1・2歳を対象としました。

**意見** 町長も議員も来年で任期終了となる。

継続していくか、次期の体制で決めれば良いのでは。

**意見** 1・2歳児は今まで通りの保育料とし、3歳児以上は無償化で良いのでは。

**意見** 未満児には大きな経費は掛からないのでは。小中学校生への支援を望む家庭が多いので、対象を幅広く考えていく必要がある。

**Q** 子育て応援給付金については出産祝い金とするのが良いのでは。

**A** 「すこやか子育て支援事業」の流れを汲み、いままで手当の薄かった1・2歳児をしつかりサポートして、出産から子育てまで町の支援のイメージアップをします。今後はより若い世代への支援も考えていきたいです。

**Q** この応援給付金制度は、国の保育園無償化の制度がなくなるときの継続できるのか。

**A** その時点で検討が必要と考えています。

#### 補正予算での審議

**Q** 子育て応援給付金事業は大変良い事業と考える。今後も評価をしながら継続していただきたい。

令和4年3月までの時限を設ける必要はないと思うが、町の考えは。

**A** 部内で再度検討します。

**要望** 子育て応援給付金事業については、住民が納得できる制度としていただきたい。

#### 解説

##### 主要な議論は、

- ① 子育て支援の対象者を1歳、2歳に限定して良いのか。
- ② 制度を令和3年度までの時限(期限付き)であることの是非。
- ③ 町独自の制度であるが、財政的な持続性が保たれるのか。
- ④ 誰もが納得できる制度になっているか。

**町の姿勢としては**、町独自の制度として現在ある子育て支援の諸制度と関連させて、今後この制度を検証しながら、町の総合戦略に位置づけて継続する方向を示しています。

**議会としては**、他の支援制度の拡充を求める意見や、制度の継続性を要綱に明示することなど多くの意見が交わされましたが、今後保護者などの意見もよく聞きながら検証をしていくことを要望して本会議で関連予算を承認しました。

## 12月定例会

# 9人の議員が一般質問

### ◆高橋 進 議員

運転免許証が返納しやすい体制と支援の工夫を

### ◆赤坂 孝 議員

ケーブルテレビ(CATV)の有効活用を

### ◆近藤 隆 議員

災害時における長期間の停電の対応は

### ◆伊藤 寿子 議員

妻籠地区での町政報告会を町はどのように感じたか

### ◆矢澤 和重 議員

課題をクリアしてスローガンに沿ったまちづくりを

### ◆早川 親利 議員

児童生徒をネット犯罪から守る対策を

### ◆松原 崇文 議員

耕作放棄地を作らない方策として食味検査に補助を

### ◆坂本 満 議員

妊産婦を含む子育て支援の拡充を

### ◆北原 隆光 議員

町の一般社団法人観光協会に職員派遣をするのか

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

## 運転免許証が返納しやすい体制と支援の工夫を

### 返納手続きの改善を

**Q** 最近、運転免許証の返納が呼びかけられているが、町から木曾警察署までは遠く費用もかかる。

**A** 町内交番での手続きの検討をお願いしてきたが、その後の状況は。これまでも要望してきていますし、木曾警察署の担当者とも3回話しました。県下の各地で困っているようですが、専門職が対応しており、交番での手続きは難しいとの返答でした。

### 意見

今後さらに、①郵送による手続き。②交番に免許証を預けて本署での手続きを行えるようにする。③返納手続き後も、有効期限内は運転でき

るようにする。などの改善について、引き続き相談をお願いしたい。

### 返納時にバス無料パスの検討を

**Q** 町では自主返納支援として1万3千円分の南木曾町商品券が交付される。

**A** 木祖村では村内バスの無料パス2年間分が付与されていると聞く。町でも検討しては。研究したいと考えます。

### 支援条件の拡充を

**Q** 12月からの道路交差法改正で、5年前に遡って運転経歴証明書が交付されるようだ。自主返納支援の南木曾町商品券は遡って交付

できるか。**A** 支給できるように、今回の補正予算で計画しています。

### 自主返納支援を免許証の写しなどで対応できないか。

**A** 現在は返納された方が運転経歴証明書を提示した場合のみの対応となっています。運転経歴証明書は、身分証明書としても使用でき、タクシーは10%割引で利用できます。

**意見** 南木曾町商品券の交付のみを希望される方も多いと思われるので、支援方法の再検討をお願いしたい。



高橋 進 議員

## ケーブルテレビ(CATV)の有効活用を

### CATVの故障は

**Q** 令和2年度より町内で光化工事が始まるが、現在の同軸ケーブルにした経緯と、光化工事を行う理由は。また、今まで故障はあったか。

**A** 参入計画時に設置費を比較した結果、同軸ケーブルになりました。今後、同軸ケーブルの生産が中止となること、および高速ブロードバンド、WiFiなど情報通信環境を整備する費用があるため、光化工事を行います。災害を除き、経年劣化による故障はありません。

### 加入状況と放送活用は

**Q** 町内の加入状況は。  
**A** 一般世帯の基本契

約は1789件、インターネット契約は555件、事業所はそれぞれ81件と29件です。

**Q** インターネットの加入状況が100%でない理由は。

**A** 民間事業者との競合によります。

**意見** 音声告知端末について、事業者は有料なので一般世帯と同様に無料してほしい。

**Q** 郡内の文字放送活用状況と費用は。

**A** 各町村20分の枠があり、役場からの発信は無料です。町は月17〜20回発信しています。  
**意見** 身近な情報は、広報やHPよりCATVによる文字放送が理解しやすい。ぜひCATVの文字放送を活用してほしい。

**Q** 木曾広域情報センターの運営方法は。

**A** 収入はCATVやインターネットの使用料で賄います。

### 町内の光化工事の詳細

**Q** 光化工事の詳細は。

**A** 木曾広域が令和2年4月に発注し、予算は広域で計上し、国の補助金と町の負担金で負担します。

**Q** 本工事業の内訳は。

**A** 事業費総額6億円程度の予定です。

**Q** 光ケーブルの耐用年数と料金体系は。

**A** 耐用年数は10年で、料金は変わりません。新たに300メガバイトと1ギガバイトのプランが提供されます。

**要望** 広域で行う事業であるが、町の事業でもある。町独自の情報提供をお願いしたい。



赤坂 孝 議員

## 災害時における長期間の停電の対応は

### 停電時の上下水道対応

**Q** 今年は大型台風の影響により、鉄塔や電柱が倒れ長期間にわたる停電など全国各地で甚大な被害が発生した。町で一週間程度の停電が発生した場合の、断水や下水への対応は。

**A** 水道施設には非常電源設備が無いので、長期間の停電による断水には、場合によっては県の水道協議会の支援で給水します。

**Q** 下水道処理施設には、非常用発電機が設置されていて数時間は対応できます。それ以上の場合は簡易処理して河川へ放流するなど、詳細な対応については今後検討していきます。

**Q** 発電施設で災害対応ができるのか。

**A** 太陽光発電である程度の業務は可能ですが、長期間の停電では自家発電施設での対応が必要となります。

**Q** 避難所となる南木曾会館はどうか。

**A** バックアップ用の非常電源は無く、長期停電時には電源車を要請して対応します。

**Q** 介護施設での停電・断水対策は

**Q** デイサービスセンターやあすなろ荘が停電・断水となった場合、利用者への影響が大きいのと思われる。具体的な対策は考えているか。

**A** 両施設とも非常用電源は無く、電源車が必要と考えています。水道については、40tタンクを設置してあり、しばらくは大丈夫ですが、長期となれば給水車などでの対応が必要となります。

### 個別避難計画の必要性

**Q** 今年の台風では、高齢者などの被災が多かった。今後、支援者や避難手順を定めた個別避難計画が必要では。

**A** 今後、災害担当課と協議して対応します。

**意見** 毎年のように豪雨を伴う強い台風が心配される状況の中で、ハード面や避難体制の整備が重要である。

そして、森林と農地などの保水機能が発揮できるように、一次産業を守って存続できるような施策を進めていくことが必要である。



近藤 隆 議員



## 妻籠地区での町政報告会を 町はどのように感じたか

**妻籠宿保存に対する  
町の考えは**

**Q** 10月4日に行われた妻籠地区町政報告会で、住民から出た意見の大半は(公財)妻籠を愛する会に対するものであった。町は率直にどのように感じたか。

**A** 妻籠の皆さんが妻籠のことに関心を持ちつつも、いろいろな課題があること、妻籠を愛する会に対して住民からの意見もあることなどが感じられました。

**Q** 町はこれまでも、保存に対する予算は付けてくれたが、口は出さなかった。町の考えは。

**A** 今の状況を見てもその姿勢は変わりません。愛する会が住民組織としてある以上、町は支援します。ただ、

保存運動に関してはできるだけ住民の皆さんで解決して頂きたいとの考えもあります。

**Q** もともと、どこでも保存と観光はせめぎ合いだと思う。ただ、妻籠宿が町の財産であるとするならば、今のままでは限界がある。町内の他地域から関わってもらう方法もあるが、先ずは町に本腰を入れてもらわなければ始まらない。「保存はもう町がやった方がよい」という意見も多いが。

**A** そういう意見があることも承知はしていますが、あくまでも保存活動は住民が主体となっていて、町も一緒に連携して取り組んでいくものと考えます。今後、話し合いの場を設けるなど、町も協力するこ



伊藤 寿子 議員

とを検討しています。  
**意見** ぜひやって頂きたい。せつかくインバウンドで外国人観光客も増えている。観光協会も法人化した。

50年守り続けてきたものを、もう一度見直す時期にきていると思う。

### 観光協会法人化の状況

**Q** 旅行業有資格者の採用は決まったか。

**A** まだ決定ではありませんが候補はいます。

**Q** 来年4月からのスタートに間に合うか。

**A** 間に合うようにしています。

**意見** 経験豊富な職員も必要と思うし町からの派遣や支援も含めて、ぜひ成功させてもらいたい。

### 思い描いたまちづくり

**Q** 町長就任から間もなく4年任期満了を迎える。所信表明で、第3次自立推進計画も含めた第10次総合計画を策定したが、思った通りのまちづくりができ

**A** 4年前にスローガンに掲げた「もつと南木曾を元気に」という目標に向かって進んでいくために、重点政策として住環境整備や子育て教育支援などを中心に、定住促進に繋がるような政策を積極的進めてきました。

最終目標である人口減少については、これからも取り組んで行かなければいけない最重要課題であり、それ以外にもたくさんある現状だと思っています。

## 課題をクリアしてスローガン に沿ったまちづくりを

財源や人材に限りはありますが、あらゆる施策が人口減少の歯止めなるように、効果的な施策を行って行く決意です。

**Q** 町長にとって「南木曾町らしいまちづくり」とは。

**A** 「住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曾」と、誰もが自信を持って声に出せることです。

### 保育部門移管の効果

**Q** 保育部門が教育委員会に移管された。一貫した子育て支援はできたか。

**A** 引き続き、保護者の意見を聞き、より利用しやすく、子どもたちのためになるようなシステムにしていきたいと考えています。

### 運転免許の自主返納

**Q** 運転免許証自主返納の取り組みについて町の考えは。

**A** 実際免許を返してしまうと、買い物や病院へ行く、通勤など交通が不便です。とても難しい問題だと思っています。今後、免許を返納された方や移動手段のない方の足の確保にいかに取り組めるかが課題です。

**意見** 中山間地では車が無いと生活できない。何度もこの問題に言及してきたが、本当に難しい課題である。この課題をクリア出来ない「住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曾」と言えない。しっかりと取り組んでいきたい。



矢澤 和重 議員

## 児童生徒を ネット犯罪から守る対策を



早川 親利 議員

携帯などの所有率は

**Q** 最近、携帯やスマートフォンなどでSNSを使った小中学生の誘惑などの犯罪が発生している。「都会は危険で地方は大丈夫」ではなく、どこでも起こり得る。

**A** 全国平均で携帯やスマートフォンなどの所有率は、小学生で35%、中学生で70%と聞く。町内小中学生の所有率は、**Q** 小学生と中学1年生は数名程度、中学生は約40%が所有している状況です。

**Q** SNSなどの利用率は、調べているか。  
**A** 小学生の主な使用用途は家族などの連絡です。中学生は、ネットの動画閲覧やゲームなどに使用している

状況です。

**Q** スマートフォンなどによる犯罪の危険性や巻き込まれない対策についての指導状況は、

**A** 小学校では、参観日などで保護者と携帯の使用状況や対策についての話し合いや、6年生を対象に講師を招いて情報モラル学習会を行っています。中学校でも、生徒と保護者が一緒に、専門講師によるSNSやライン、インターネットの危険性やトラブル対処方法などの学習会を行っています。また、小中学校とも生活アンケートを実施するなど、実態の把握も行っています。

### 長時間使用への対策

**Q** ゲームやラインを

長時間行うことにより、勉強がおろそかになる、寝不足や視力低下、猫背、指や肘の腱膜炎になるようだが、対策などは取っているか。

**A** 小学生の携帯所有は少ないですが、ネットにつながるゲーム機を使っているようなので心配をしています。中学生は、休日長時間ゲームなどを行う様子があります。使用については、家族間で約束のルールを決めている家庭が50%程あるようです。

**意見** 教育委員会、学校、保護者が常に連携を取り、実態を把握し、早めに対応して子どもたちを犯罪などから守っていただきたい。

## 耕作放棄地を作らない方策 として食味検査に補助を



松原 崇文 議員

耕作放棄と町の対策

**Q** 耕作放棄を作らないために、現在、町が取り組んでいることは、  
**A** 獣害に合わない作物の研究や、農業委員会で貸し手と借り手を結びつける事業、また、担い手組織の育成などを行っています。

米の食味値の測定を

**Q** 農家の方のやりがいにつながるのが、おいしい作物を作ることだ。その指標の一つに食味検査があると思う。今は、それぞれの感覚でおいしいと言っているが、それを数値にすれば自信が持てると思われる。

食味検査への補助ができないか。

**A** 食味値を測ることによって、付加価値がついたり、作付け意欲の向上につながったりすると思いますが、機械で測ったものですが、比べるものがないと、おいしさが分かりにくいのではないかと考えます。

### 米の食味値とは

(米・食味鑑定士協会HPを参考)

食味値は、「アミロース」「タンパク質」「水分」「脂肪酸度(玄米)」の4つの成分を測定し、食味方程式により算出。

食味値は100点満点で表し、数値が高いほど美味しい米になる。日本産では、65~75点が標準。

**アミロース** : デンプンの中のアミロースの比率。アミロースの割合が低いほど粘りがあり美味しい。

**タンパク質** : 米のタンパク質の比率。タンパク質が少ない米は、吸水が良くふっくらとして美味しい。

**水分** : 米に含まれる水分。16%標準の範囲内で、水分の高い米ほど美味しい。

**脂肪酸度** : 脂肪の酸化度。米の脂肪は貯蔵中に徐々に酸化され、脂肪酸化度が低いほど新鮮で美味しい。

**Q** 「おいしいお米がとれるところなら作ってみよう」と思う人もいるかもしれない。検査するところもいろいろあると思われるので、研究していただきたい。また、販売先についても考えてもらいたい。

**A** 検討したいと思いますが、また町でも販路なども考えていきたいです。



# 妊産婦を含む 子育て支援の拡充を

## 子どもの医療費支援

**Q** 子どもの医療費窓口無料化の現状は。

**A** 年間60000件程のうち、岐阜県が7割、県内が3割で、その比率は昨年と変わっていません。岐阜県での利用はシステム改修の課題があり、すぐに対応することが難しい状況です。

**Q** 国保税の子どもへの均等割り分の支援を。

**A** 11月28日の国保制度改善強化全国大会でも「子どもに係る均等割り保険税の軽減制度の創設を求める意見」が採択され、全国的にも共有されている要望だと理解しています。子育て支援の中で検討したいと考えます。

**Q** 正常分娩費が年々

増加し、出産育児一時金では足りないのでは。

**A** 町でも分娩費の支払額が50数万円や40万円台の例もあり、条件にもよりますが一時金との差があるようです。

## 妊産婦の医療助成を

**Q** 妊産婦の福祉医療助成ができないか。

**A** 町では不妊治療の補助の拡大、産後ケア事業の創設などを拡充してきています。

今回、提案していただいた子育てや妊産婦への支援全体を考慮し、支援策を総合的に検討したいと考えます。

## リニア計画

### 「先進坑」併設の問題

**Q** 山口工区では本坑のトンネルとは別に先

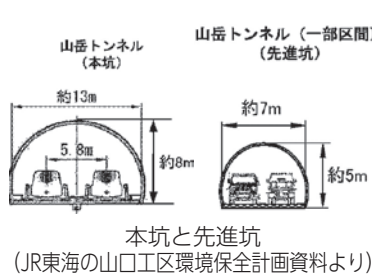


坂本 満 議員

進坑（高さ5m、幅7mのトンネル※左図）の併設が計画された。これまでのJR東海の説明とは大きく異なる。新たな発生土が生じ、妻籠水道水源保全地区での新たな開発行為に繋がらないか。

**A** 本坑を掘削する際の土で先進坑を埋め戻すと聞いています。

県の現在の考えは、先進ボーリング調査に先進坑も含まれるので、報告や届けとなるというものです。



# 町の一般社団法人観光協会に 職員派遣をするのか

## 観光産業の現状は

**Q** 妻籠宿を中心とする町内観光産業について、観光客数の現状と産業構造の割合を伺う。

**A** インバウンドにより外国人客の増加と、温泉による宿泊客が増えて、経済効果も出てきていると思います。

産業全体では、製造業46%、建設業19%、小売り商業16%、観光関係4%（平成28年売上額）です。今年10月の観光客数は約51万人で、そのうち妻籠宿32万人6%増となっています。

**Q** 今後の観光政策では来年のオリンピック、将来はリニアにより町も大きな影響が出ると予想される。町の戦略として「町おこし」の観光経済効果対策を伺う。



北原 隆光 議員

**A** オリンピックによる観光客増加が予想され、リニア関連効果も期待しているところです。

スマートインターの建設も予定されており、交流人口の増加は観光面でも大きなプラスと考えます。中津川市と飯田市の中間で体験型観光ルート作りが必要だと考えます。リニア開業を見据えた産業観光のまちづくりを検討したいです。

## 観光協会と町の考え方

**Q** 法人化した観光協会は、妻籠内に事務所を設けると聞く。財団協会、町の連携が心配だが、町の考えは。

**A** 基本的には保存重視で考えています。

**Q** 今まで観光協会は

町主導でやってきた。新しい観光協会は一般企業だ。条例が必要と思うが。

**A** 観光協会が全て独立して事業をこなすことは難しく、財政支援、人的支援を考えており派遣条例の改正をお願いしたいです。

**Q** 補助金や人的支援は予算計画に関係する。設立にあたり目的、事業計画、戦略、誘客など議会へ説明を求める。

**A** 協会の考えを説明する機会を設けます。

## 意見

日本経済新聞の全国の行きたい宿場町ベスト10という記事で妻籠宿は一位である。

妻籠ブランドを利用し、初心の気持ちで活動することが大切である。協会の一年でも早い自立を期待したい。

## 木曽広域連合議会報告

木曽広域連合11月定例会の主な内容は次のとおり。

- フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定
- パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定
- 看護師等奨学資金貸付条例の制定
- 下水道事業の設置等に関する条例の制定
- 職員定数、職員の分限、職員の給与などに関する条例の一部改正
- 副管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
- 消防手数料条例の一部改正
- 火災予防条例の一部改正

- 令和元年度一般会計補正予算（第3号）  
264万5千円を追加し総額41億2546万5千円となりました。
- 令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)  
歳出の款間の組替を行いました。

### 全員協議会

- ◆令和元年度 台風19号災害派遣活動等状況報告  
今年10月に発生した台風19号災害による被災地支援について報告されました。10月13日～16日は長野市豊野地区と穂保地区などで救助活動、10月18日～22日は飯山市で廃棄物処理支援活動、11月18日～22日は上田市真田地区で災害復旧工事支援活動を実施しました。

## 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会報告

木曽広域連合11月定例会の主な内容は次のとおり。

- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定
- 会計年度任用職員の給与等、退職手当などに関する条例の制定
- 公平委員会委員の選任：川上 恵美子氏
- 平成30年度一般会計歳入歳出決算認定  
歳入合計47億4365万7753円（前年度比5.1%増）、歳出合計46億8963万2803円（前年度比4.1%増）で、実質収支は5402万4950円の黒字決算になっています。
- 令和元年度一般会計補正予算（第2号）  
5千万円を追加し総額46億9000万円となりました。

### 全員協議会

- ◆給与制度等検討委員会の指名
- ◆給食調理業務委託の入札  
来年度あすなろ荘などの給食業務が委託されました。
- ◆令和2年度～4年度実施計画の策定  
「松塩筑木曾老人福祉施設組合経営指針 2025」で定めた取組目標を念頭に、諸課題を着実に実施するとともに、これまで以上に組合資源を充実させるため、財政状況を踏まえた運営改善と人材確保の推進を図るための中期計画として検討し、策定するものです。  
デイサービスの廃止が含まれています。また、あすなろ荘の大規模改修は見送られています。

### 質疑 南木曽小学校駐車場用地の取得関係

- Q 今の駐車スペースでは狭い理由は。  
A 参観日や運動会時の駐車場に苦慮しています。雨天時などに校庭に駐車した場合は、校庭がぬかるみ傷んでしまうこともあります。
- Q 駐車台数等の計画は。  
A 造成計画を立ててから検討します。
- Q 駐車場の造成費は。  
A 概算で約4000万円を見込んでいます。
- Q 結構高額だが、宅地などの計画もあるのか。  
A 現時点では駐車場を考えています。

◆場所 小学校上段の農地  
◆面積 3,521㎡  
◆経過 地権者から譲渡の申し出があり、公有財産管理委員会と協議し、駐車場として取得する方向で検討しました。



### 説明概要

小学校駐車場用地の取得

## 全員協議会

議会と町の意見交換(12月12日・18日)



今後の南木曾町の  
保育の姿  
基本方針②

説明概要

保育園の統合を巡っては「保育所審議会」の答申を受けて議会でもさまざまな議論がなされていくところですが、前回9月定例議会で提

案のあった「基本方針①」に続き、今回新たに町長から「基本方針②」が出されました。

※詳細内容は広報なぎそ今月号11Pに掲載  
※「基本方針①」に関しては、広報なぎそ11月号10Pと議会だより11月号31P参照

質疑 今後の南木曾町の保育の姿 基本方針②関係

Q 5歳児だけをまとめる理由については疑問を感じる。9月議会で町長から説明のあった内容とは違ってきているが理由は。

A 前回の説明にもあったいくつかの進め方の中から、現状や様々な意見を勘案して決めました。

Q 園児は全員一緒に保育することが望ましいと思うが、今回の提案は期限を区切らず続けるつもりなのか。

A これからのことは、準備会や実施する中で決めていくこととなります。

Q 町長と教育委員会、現場の保育士との話はできているのか。

A 方針は伝えていきます。

Q 国の大幅な学習指導要領の改訂により、保育園児の幼児教育化が進められているが、本来の統合問題がどんどん変化している気がする。今、早急にやらなければいけないことなのか。

A 時代や国の流れをふまえ現在の少人数の中で、小学校へ上がることへの不安など、保護者の要望も考慮してのことです。

Q 今回の提案は、保育所審議会にはまだ諮っていないと思うが、ぜひ審議していただきたい。

A 既に審議会からの答申は受けていますが、今回の提案については、また新たに報告し、意見をいただくようにします。

子育て世代包括支援センターの設置

説明概要

国の「少子化社会対策大綱」により、産休中の負担軽減や産後ケアの充実、「子育て世代包括支援センター」の整備など切れ目のない支援体制の構築が示されました。センター

機能は、既に健康しあわせ係と子どもすくすく係で実施していますが、より内容を充実させるため、妊娠期～幼児期、保育園～18歳までの子どもがいる家庭に対し、一元的支援体制の構築を進めるものです。

質疑 子育て世代包括支援センターの設置関係

Q 既存の支援センターと包括支援センターの違いが分かりにくいですが、もう少し分かりやすくなるのか。

A 子育て支援センターは乳幼児期の支援を中心にしてきたが、包括支援センターは18歳までを継続的に切れ目なく支援していくというものです。

Q 窓口はどこになるのか。

A 住民課と教育委員会でやってきた子育て支援をより連携しながら充実させるため、窓口を教育委員会に置き、分かりやすくしたいと思います。

意見 保健師がいない教育委員会の窓口へ行っても住民も不安ではないか。もう少しスッキリした体制でできるように検討を望む。

説明概要

目的および場所

国土交通省で計画している地蔵沢砂防堰堤事業に伴う工事用道路として、町道妻籠線(旧妻籠小学校手前)町道和合妻籠線の連絡道を利用する計画であるが、幅員が狭いため改良工事を行う。将来は町道として残すため、町道認定および用地取得を行うものです。

◆工事用道路の概要

道路延長 232m  
幅員 4m  
コンクリート舗装

町道妻籠町上連絡線(仮称)の町道認定及び用地取得・物件補償

質疑 町道妻籠町上連絡線(仮称)の町道認定及び用地取得・物件保障関係

Q 手前の民家のある道路は利用できないか。

A 民家があるため、幅員の拡幅は難しいです。

Q コンクリート舗装では雪が溶けにくいですが、アスファルト舗装にはできないのか。

A 道路勾配が急なため道路基準によるコンクリート舗装計画です。

Q 砂防工事には、町道妻籠線、町道和合妻籠線も利用するが改良はしないのか。

A 今後、国土交通省と協議したいと思います。

意見 幅員4mでは、大型と普通車のすれ違いができない。待避所が必要でないか。

名城大学との包括連携協定

説明概要

南木曾町総合戦略の中で、基本戦略「教育の充実」の重点項目として大学連携を掲げています。

「なぎそミツバツツ祭り」を通じて、15年来交流のあった名城大学との連携です。

まちづくりの手法や空き家対策などについての研究と実践を行い、

「フィールドワーク<sup>※1</sup>のまち南木曾」を指すとともに地域課題の解決を図ろうとするものです。

※1..聞き取り調査やアンケート調査を行い、現地での資料・史料の採取などを行う調査技法のこと

地方創生総合戦略(案)

説明概要

南木曾町地方創生総合戦略の第1期が今年度で終了するため、南木曾町地方創生総合戦略第2期(令和2年度(令和6年度))を策定するものです。

若者まちづくり会議や町内女性に意見を伺い、取りまとめた内容を12月16日の戦略会議に提出しました。

12月20日～1月20日までパブリックコメントの期間を設け、意見を募集します。いただいた意見を反映させ、令和元年度3月議会定例会に正本した総合戦略を提出する予定です。

※今回は説明のみ

リニア活用基本構想の策定

説明概要

「南木曾町リニア活用基本構想」はリニア

中央新幹線のもたらすプラス面の効果を最大化するまちづくりが必要で、リニア開業後を

質疑 リニア活用基本構想の策定関係

Q 参考資料に示す南木曾～品川間が最短90分というのはどういう計算か。

A あくまで想定される最短時間です。現状の品川までの180分も、最短時間の比較上の数字です。

Q 南木曾～名古屋間は70分が40分になると書くのは「特急しなの」は無くなるという前提になってしまうのでは。

A 詳細な内容については、いままで検証したことはありません。実際にはどうなるかを検証しながら、構想を練っていくこととなります。課題を明らかにしたり、課題への働きかけなど、皆さんの意見を参考に考えていきます。

Q 1月までに意見募集をして誰がまとめるのか。

A 戦略室でまとめます。

意見

- ◆坂本駅～中津川駅は30分に電車が1本で、中津川～南木曾は2時間に1本だ。90分で品川という夢は、南木曾には当てはまらないことを念頭に置いた計画を。
- ◆高校1、2年生とあるが、中学生からも声を聞いてもどうか。
- ◆基本構想は半年なり1年掛けて練るべきだ。1ヶ月はあまりに短いのでは。

リニア協定書

説明概要

見据えた地域づくりの指針として策定します。1月に高校生や住民からの意見や有識者からの提言などを集約、2月に構想の素案作成、3月にパブリックコメントを実施する予定です。

12月11日にJR東海と締結した別途文書(協定書)は、町道棚橋線道路工事に関する協定書」と「水源の予備的措置に関する協定書」です。

質疑 リニア協定書について

Q 新聞記事に「予備的措置」の意味について、「町はいろんな整備がトンネル掘削前に実施されると想定している」と書かれているが、想定では確約にならない。

A 影響があつてからの対策工事では間に合いません。当然トンネル掘削前に代替水源を確保するという事です。

Q 減少量を補う施設の設置は2年後、3年後なのか、広瀬工区は時間の問題になっている。計画はどうなっているか。

A この議会の補正予算で、来年度事業の債務負担行為として認めていただければ、すぐにでも現地の調査設計を始める予定です。

Q 町は水道水源の規模をどれくらいに想定し、要望する施設の容量はどんなものか。

A 基本的には妻籠水道水源が無くなったと想定し、その水を広瀬の上流部で取り、大山高区、向ヶ原の水源などの代替えにも活用するよう基本設計の中で考えていきます。



全員協議会

実施計画（令和2～4年度）

説明概要

基本計画で掲げる施策を実現するための事業を示すものです。今回は、令和2～4年度を策定するものです。

質疑

会計年度任用制度

**Q** 会計年度任用制度によって臨時職員待遇が改善されるのか。

**A** 同一労働同一賃金という働き方改革の中で公務員の臨時職員を対象とし、試算でそのまま計算すると、令和2年度では2000万円ほど当該人件費が増えます。退職手当組合への事業主負担分と、新たに期末手当支給対象となるのパート（週15時間30分以上）への期末手当・社会保険料などです。

地方創生事業

**Q** 地方創生戦略で国

からの交付金はあるのか。

**A** 主要事業としては子育て移住、観光のインバウンドなど数は多いが、地方創生交付金の対象となる事業は計画されていません。この事業の採択条件を満たして既存事業や既存施設を活かすにはハードルが高いのが実状です。

リニア関連の事業

**Q** リニアによる代替水源の水道管敷設工事は確実に進むのか。

**A** これから基本設計、実施設計を行います。基本設計の中で敷設替えの必要が示されると考えています。基本設計費の負担はJR東海です。

**Q** 蘭、尾越の国道256号交差点から入った道幅の狭い町道整備はリニア関連で行うのか。

**A** 尾越側のリニア関連の交渉と狭い区間の協議はこれからです。

道路改良関連

**Q** 新規の蘭広瀬線改良の場所は。

**A** 蘭広瀬線では、旧蘭小学校より広瀬側を考えています。

**Q** 島の平線の改良は。

**A** 原ペーカリー前の交差点は改良の余地がありその調査をします。**意見** 横断歩道も改良の中で検討を。

**Q** 坂の下線の交差点改良に待避場設置も含まれるのか。

**A** 平成24年度に地質調査実施していますが、今回、高瀬橋交差点から町道坂の下線の改良について概略の調査を行うということです。

**Q** 天白連絡線の計画は。

**A** 他の町道などの中で優先順位を検討しています。

**Q** (主)三留野停車場線の歩道設置計画は、通学の安全のために上流側の設置が良いのでは。

**A** 教育委員会が学校と相談した内容も含めて県と協議をし、下流側の設置を決めたものです。県としては上流側の場合にはさらに横断歩道が必要になり難しいとのこと。

**Q** これまでの道路改良は拡幅するが、縦断方向の勾配の改良が十分ではないか。

**A** 今後、概略設計の段階などで検討をしていきます。

**Q** 小規模水道関係  
**Q** 小規模水道の計画策定では具体的な整備箇所があるのか。

**A** 施設の統合なども検討するための全体計画を策定するものです。

防災関係

**Q** 大規模盛土造成地についての調査結果は出たのか。場所は既に公表したのか。

**A** 町内に5箇所あり、今年度中に公表する予定です。来年度土質調査などを行います。

学校関係

**Q** 小学校のグラウンド整備費の1000万円が削除になったのは。

**A** 表面の小石対策として全面的な土の入れ替え改修を計画してしまいましたが、工法や土の調達など具体的な検討が進まないうえ、部分的な改修による維持管理で対応しているかと判断しました。

**Q** 子どもたちが使うパソコンは。

**A** タブレット型を小・中学校に40台ずつ

**Q** 年間900万円の森林環境譲与税の使途はどうなっているか。当面は全て基金積み立てか。

**A** 森林環境譲与税は経営計画に沿って広域連携により制度設計をしている途中で、まだ具体的ななっていない。今年度は、ゾーニングの調査委託費として135万円を基金から振り替えます。また、木曾広域で行う業務は各町村の負担金となります。

**Q** 放課後子ども教室の増設は令和3年度となっているが早くならないか。

**A** 小学校内にある「なぎそっこ」が手狭で増築を考えています。繰り上げについては検討してまいります。

**Q** 歴史の道整備の場所は。

**A** 橋場から大妻籠区間で計画しています。

**Q** 南木曾町誌の追加分は本にするのか。

**A** 既存資料のデジタル化を進めています。前回発刊後、平成までの分は町誌の追加分を冊子としてデータDVDとセットで作成する予定です。

**Q** 森林経営管理制度

です。県としては上流側の場合にはさらに横断歩道が必要になり難しいとのこと。

これは拡幅するが、縦断方向の勾配の改良が十分ではないか。

今後、概略設計の段階などで検討をしていきます。

施設の統合なども検討するための全体計画を策定するものです。

田立の田奥で思うこと

今、高齢ドライバーによる交通事故が問題になっています。私も将来のことを思うと不安になります。運転もさりながら、山奥に住んでいると車がない生活は成り立たないからです。

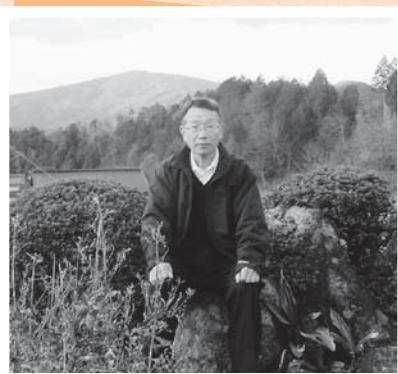
高齢者にとって、通院や買い物など日常的な移動・外出のことを考えると公共交通機関がない地区では、どうしても車に頼らざるを得ません。これから先、自動車運転ができて目的の地まで運んでくれるという技術も進んでいますが、山間部の狭小な道での移動は難しいのではないのでしょうか。これからも地域が存立していけるかどうかの大問題でもあります。

近年、コンパクトシティという考え方があります。地域をある程度まとめて、行財政的に効率よく、ある

聞いて  
私の思い

田立地域振興協議会  
会長

森 洋司さん



わいわい、がやがや、「狭域行政」

いは住む人にとって利便性がよい場所を造るという構想で、既に進めている自治体もあります。ただ、まとめることができない地域はどうなるだろうか、心配になります。荒廃した土地が拡大していくのではないのでしょうか。食糧増産の時代に育った人達にとっては隔世の感があると思います。

生活していく上で、タクシー利用もありますが、最近、地域での助け合いを中心とした移送サービスが話題になっています。ボランティアのマイカーを利用した活動や介護サービスと連動したサービスですが、地域での住民意識の醸成はこれからです。今後の地域力が試されています。

「広域行政」の対に「狭域行政」があります。狭域行政には住民の参画が欠かせません。区長も地域の要として大事な役割を担っており責任の重さを痛感しているところですが、なかなか良い方策が浮かびません。

あらゆる世代が住み続ける地域を創っていくには住民の知恵と努力が必要です。地域全体で「わいわい」「がやがや」話しをしながら地域を盛り上げていきたいと思えます。

編集後記

議会報の編集集中に年が新しくなりました。オリンピックの年はこの町の町長・議員の選挙の年でもあります。

12月の議会に限らず、議会中には町が置かれている状況が映し出されます。議会からの報告を少しでも多く届けようとする、どうしても字数とページ数が多くなります。議員の一般質問ページは中味を濃くし、1ページを半分にしてあります。

11月の議会主催の住民懇談会は参加者が少なく反省と改善が求められています。国政に垣間見られる国民不在ともいべき事態に対しても、この議会において住民の声や思いを漏れ無いうに受け止め、反映しているかという内省の中で真摯に語りたいたいところとします。

議会だよりへのご意見・感想などお寄せ下さい。

編集委員

坂本 満(記)  
近藤 隆  
伊藤 寿子  
早川 親利